



H30・11・29
ひよこ組
No.6

雨が降り急に寒くなりました。鼻水がでたり、咳が出たりとありますが、みんな、元気に登園しています。これから、増々寒くなってくるとRSウイルスやインフルエンザなども心配です。

生まれて初めての冬を過ごす子どもたち、体調の変化には十分気をつけてあげたいと思います。何かいつもと違うなということがありましたら、連絡帳や朝の受け入れの時などにお知らせください。

今、ひよこ組は・・・

園の大きな行事の運動会には、暖かい応援をたくさんいただきありがとうございました。運動会後の子どもたちは、日々成長を感じさせてくれています。

山本絆心ちゃんは、しっかり歩くようになり、その発達が歩行開始から歩行完成期に入ってきたのが感じられるようになりました。それで、運動遊びがたくさん楽しめる、りす組に、11月から進級して過ごしています。

満6ヶ月を迎えた歩己くんも大きくなりました。寝返りができるようになり、うつぶせで、おもちゃを取ろうと、手を伸ばし、宙を蹴っていた足が、床を蹴り前に進もうかといった様子も見られるようになりました。

つかまり立ちしていた琴子ちゃんは、つかまり立ちから手を離し、足をかわし始めています。

絢叶くんは、歩く歩数も日々増えて、この頃は、段差も「よいしょ」と登ったり、台やマットの山の上で立って見せてくれます。

動きもそれぞれ活発になりました。どの子も自分のしたい遊びをたくさんできるようにと環境を作っているところです。3人一緒に仏さまにお参りをしたり、絵本を見たりする時間も持てるようになりました。一日にどこかの時間で3回位は、絵本を読んであげる時間をとるようにし、その時間も大切にしています。

また、離乳食を食べたり、午前寝をしたりと一人ひとりの生活リズムを大事にしてお世話をしています。

出したり、入れたりが楽しくて大好き

何が入っているのかな？とすぐに引き出しをあけては、中に入っているものを出しています。一通り出すと次は、入れてと繰り返しています。穴が開いていると指を入れたり、手を入れたり、覗いたり、好奇心旺盛です。ペットボトルやタッパーでポトン落としを作って遊んでいます。

指先も器用になってきて、小さな袋の中に入れようとする姿もあります。出したり、入れたり、はモノだけではなく、自分で入ったり、出たりするのも大好きです。

段ボール箱も空き箱も子どもたちにとっては、すぐおもちゃになります。一人が入ると「わたしも」とやってきています。あっちにも同じものがあるよと思うのですが、お友だちがあそんでいる「これ」がいいのです。手を伸ばしてくると「取らないで」と言うように、くるりと背を向けています。時には大きな声を出したり、手を出したり、楽しそうに顔を見合わせて笑ったり、お友だちとの関わりが見られるようになってきました。また、歩己くんがラックに座っていると近づき、頭を下げて(顔をかくして)、「ばあ～」と顔をだし、二人で笑い合ったりする姿も見られるようになりました。

ひとり遊びから、お友だちと同じことをして遊ぼうという平行遊びが出てきました。お友だちが遊んでいるのを見て、「楽しそう」「自分も」と同じことをして目が合ったら、笑ってと言葉はないが、子ども同士、通じるものを感じます。声をたてて笑っているのを見ると傍にいる私たちも一緒になって笑っています。



保育参観では、おやつを自分でつまんで食べる姿や絵本を見ている時の表情や反応、お友だちの存在に興味を示し、にこにこしながら遊ぶ姿など見てもらいたいです。「興味のある遊び(ポトン落とし・マラカス(ペットボトルで作ったもの)・太鼓(箱とバチ)」をお家の方と一緒に遊びたいと思います。

子どもたちの手型、足型で作ったミノムシ、コスモスの花を壁面に飾っています。ぜひこの機会にゆっくりとご覧ください。

